

令和3年度保安統括者会議
北海道産業保安監督部長挨拶

1. 北海道産業保安監督部長の本間でございます。令和3年度保安統括者会議の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

日頃から、鉱山保安行政の推進に対し、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。加えて、保安統括者をはじめ鉱山保安関係者の皆様の安全操業や災害防止等への更なる取組を期待いたします。

2. 昨年度の保安統括者会議は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、皆様に御参集願う開催とはせず、書面開催とさせていただきました。今年度の保安統括者会議も、コロナ禍で御参集願うことは、感染リスク等を考慮し難しいものと判断し、書面開催とさせていただきました。

3. 昨年は、2月からは、当部管内でも新型コロナウイルスの感染が拡大し、全国での緊急事態宣言が発出されるなど、日常の行動、生活スタイルも大きく変えざるを得ませんでした。このほか、7月には熊本県を中心に集中豪雨により大きな被害が発生するなど、豪雨、豪雪、台風、地震などの自然災害は、毎年のように発生しています。いかなる時の自然災害にも対応できるよう、日常から備えて置くことが重要と感じております。

4. 昨年の鉱山災害の発生状況につきましては、全国で危害、鉱害を含めて36件発生し、罹災者数は、非鉱山労働者を含めて20人、うち1名の死亡災害が発生しました。当部管内においては、1件の災害が発生し、罹災者は1名となっております。

今年に入り、全国では6件の災害が発生しておりますが、当部管内においては、重篤災害2件を含み立て続けに3件の災害が発生し、罹災者は3名となっております。皆様におかれましては、安全第一で操業することはもとより、日頃の保安に対する意識の向上、保安活動及び作業手順の遵守等を徹底していただき、鉱山災害が発生しないよう御尽力いただきますようお願いいたします。

令和3年度は、第13次鉱業労働災害防止計画の4年目に当たります。鉱山災害の撲滅に向けて取り組んで参りましょう。